

1 - 5 2015年の日本の紫外線

国内3地点(札幌、つくば、那覇)における紅斑紫外線量日積算値の2015年の月平均値を図1-13に示す。札幌では1994~2008年の累年平均値を下回る月がたびたびみられ、札幌の9月はその月として観測開始(1991年)以来最小となった。つくばでは全体的に累年平均値に近かったが、5月は累年平均値を大きく上回り、その月として観測開始(1990年)以来最大となった。なお、つくばの5月は3年連続で累年平均値を大きく上回っている。また、那覇も全体的に累年平均値に近かったが、6月は累年平均値を上回り、その月として観測開始(1991年)以来第3位となった。これらの特徴は、各地点の天候(雲量や日照時間など)の状況と概ね整合している。

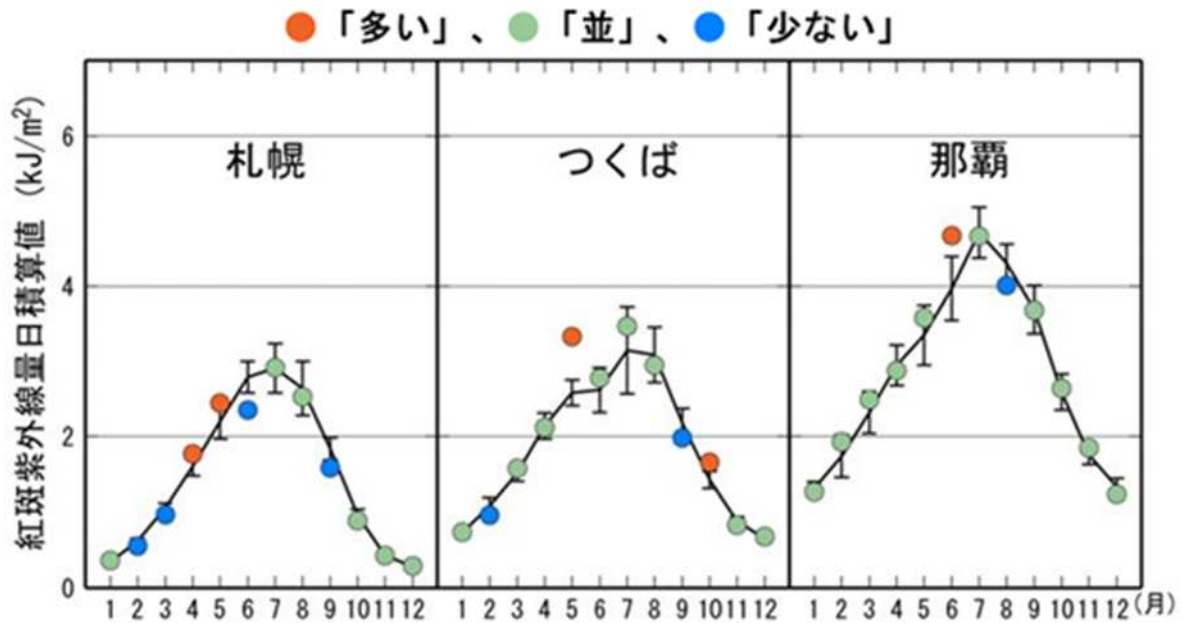


図1-13：2015年の紅斑紫外線量日積算値の月平均値

国内3地点(札幌、つくば、那覇)における紅斑紫外線量日積算値の月平均値。印は2015年の月平均値。実線は1994~2008年の月別累年平均値。縦線はその標準偏差。1994~2008年の月別累年平均値からの差が標準偏差以内のときを「並」、それより大きいときを「多い」、それより小さいときを「少ない」とした。